

# ふれあいトムともだより No.9

## 鶴牧・落合・南野地域福祉推進委員会

今年度のトムともは「防災」と「見守り」をテーマに進めてきました。11月に行われたふれあいトムともでは「防災まち歩き」を実施。当日は多摩市防災安全課職員からの防災倉庫の説明や東京都水道局による南野給水所の説明、地域のコンビニから災害時の対応について説明していただきました。まち歩きの様子について一部ご紹介いたします。

### ～まち歩き実施まで道程～

7月 多摩市防災安全課職員講演  
多摩市の防災・避難所運営について  
“顔が見える関係づくり”の大切さを学ぶ

9月「避難時自助共助活動マニュアルのための手引き」  
& タウンハウス鶴牧3独自の防災マニュアル紹介  
(トムハウスまちづくり部 小林清氏)

落合・鶴牧地区に分かれて地域の皆さんでまち歩きコースを検討。危険箇所や町の中の気付きについて意見交換

### 落合コース・鶴牧コースの2コースに決定！！

### ～当日の様子～

□ 内は参加者の感想

防災倉庫



- ・防災倉庫の中身が分かって良かった。
- ・十分な数ではないので自らの備えが必要と改めて感じた。

コンビニ落合6丁目店  
(災害時避難ステーション)



- ・身近なところに支援ステーションがあるのは心強い。
- ・コンビニが色々な役割を担っていることが初めて分かった。

南野給水所



- ・常時 3,000～8,000 t の貯水があることや、災害時の応急給水の方法など具体的な知識を得ることが出来た。
- ・十分な量があり安心ではあるが個人の備蓄もやはり大切。

鶴牧コース



- ・日頃歩いているコースだが、坂が多く支援が必要な人には歩きにくいなど、新たな発見があった。
- ・日頃の散歩も防災の目で見て歩きたい。

落合コース



- ・駐在所がいつも開いていることを初めて知った。
- ・災害時に無料となる自販機があることが分かった。(トムハウス内に設置有)
- ・何年かに一度は防災まち歩きをしたい。

地域にある災害拠点の各所ポイントは「初めて行った」という方が多く、普段住み慣れた場所を災害時の想定で歩いてみるという必要性を感じられたようです。また高齢者や要配慮者支援には労力が必要であることや支援体制を作っていくには住民自らの力が不可欠であることから、それぞれの居住地区でどのように動くのか、横のつながりをいかにして作っていくのかが課題として挙げられました。下半期のトムともでは自治会・管理組合などのさらに小さい単位での防災と見守りについて考えていきたいと思ひます。

# =プライバシーは守るもの 個人情報活用するもの= ～ふれあイトムとも講演会より～

災害時の対応や地域交流・見守りなどの活動を進めるためには、近所にどのような方がおられ、どのような支援が必要なのかなど、個人の状況を知ることが必要です。しかし、その情報の取扱いをどうするか、どう活かしていったらよいか等の戸惑いや不安の声も多くありました。法改正で名簿など1件以上が対象になったことを受け、個人情報の扱い方や有効な活用方法等について改めて学びました。

## <個人情報活用するためのポイント>

- ①利用目的を明確にし、本人の同意を得る
- ②担当者を置き管理する
- ③保護規約を作成する
- ④名簿は正確で最新の内容に
- ⑤紛失・盗難・誤廃棄・目的外利用などをしない
- ⑥支援を拒否する人には粘り強く寄り添う



講師は  
田園調布学園大学  
村井祐一教授

## ◆参加者から

- ・町会の規則に個人情報取り扱い規程を加えたい
- ・個人情報を提供してもらえる管理体制が課題

## 地域の活動団体の紹介 ふれあい・いきいきサロン

ふれあい・いきいきサロンは、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しみ、ご近所の方と顔見知りになれる「出会いの場」「交流の場」「仲間づくりの場」です。

### ★ ブリリアシニアの会 ★

多摩センター駅に近いマンションのサロンです。毎月第3水曜日マンション内の集会室で、健康や介護・年金など様々なテーマについておしゃべりをしながら交流を深めています。防災問題では、管理組合が作成した「ブリリア多摩センター防災手帳」を見ながら、「停電でエレベーターが動かなくなった場合、高層階の方々が自宅で生活するのが大変になり集会所の開放も考えたほうが良い」「期限を過ぎた飲料水はトイレ用に取っておいている」など、「その時」を想定した緊迫感のある意見交換が行われていました。若い世代も多いマンションですが、暮らしやすい地域にしていこうという熱意にあふれていました。



### ふれあイトムとも（鶴牧・落合・南野地域福祉推進委員会）は、

自治会・住宅管理組合やサロン、民生・児童委員、地域包括支援センターなど様々な団体が情報共有や意見交換を行い、「地域の横のつながり」をつくることで、地域の課題解決や活性化を図る活動を進めています。

編集・発行  
問合せ

ふれあイトムとも 世話人会  
多摩市社会福祉協議会 地域福祉推進課 まちづくり推進担当  
多摩市関戸4-7-2 ウォーター・コミュニティー7階 多摩ボランティア・市民活動支援センター内  
TEL:042-373-5616 FAX:042-373-6629 担当:大槻・佐藤